

●リスクマトリックス作成によるリスクの明確化

自社が抱えるリスクを明確化するため、年1回、代表取締役とリスク責任者で、リスクマトリックスを作成しています。特に、「回避」に分類されたリスクを重点課題と位置づけ、「自分達为实现したい状態はどのような状態なのか」を明確にし、その状態に向けた活動を考え、実行しています。

- (1) 「回避」に分類されたリスク：早急に予防と移転を検討し、対策を実行する
- (2) 「移転」に分類されたリスク：保険や契約行為などでリスクの移転を検討、実行する
- (3) 「予防」に分類されたリスク：移転できないリスクは、予防を検討し、実行する
- (4) 「保有」に分類されたリスク：対応済み、またはあえて何もしない。潜在するリスクに注意する



●危機対応組織を確立し、適切な対応と早期復旧を目指す

わが社では、米国で開発された災害や事故などにおいて標準化されたマネジメント・システムであるインシデント・コマンド・システム (ICS) を採用しています。危機が発生しないよう日常業務として予防や訓練を行っておりますが、もしもの時にこの対応組織で、正確なコミュニケーションと円滑な命令系統を確立し、適切な対応と早期の復旧を目指します。

○危機対応組織

